

1-1. 策定の背景と目的



スマートシティの取組状況と推進方針策定の目的

- 焼津市では、令和3年に焼津市DX推進計画を策定し、「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」をビジョンに掲げ、スマートシティYAIZUの取り組みを開始しました。
- 令和4年には官民連携の推進組織として、焼津市スマートシティ推進検討会を発足。オープンデータ連携基盤を構築し、データや先端技術を活用した、新たな市民サービスの提供をスタートしています。
- この取り組みを一層進めていくため、焼津の魅力を高め、持続可能なまちとしての「スマートシティYAIZU」の将来像と、それを実現するために必要な考え方や施策をまとめた「スマートシティYAIZU推進方針」を策定します。



焼津らしさ

- 漁業・水産業やものづくりが盛んで、観光資源が豊富
- 平坦な土地、雪が降らず温暖な気候など、過ごしやすい自然環境
- 暮らしやすく、子育てしやすい
- 首都圏と中京圏の中間にあり、訪れやすい立地
- 移住者が増えつつあり、若者活躍のポテンシャルがある



焼津市を取り巻く環境変化

社会情勢

- 少子高齢化・人口減少による労働力不足
- 都市部一極集中と地域のつながりの希薄化
- 気候変動と災害激甚化
- AI, IoT, ビッグデータなどデジタル技術の進展、実用化

市民の価値観

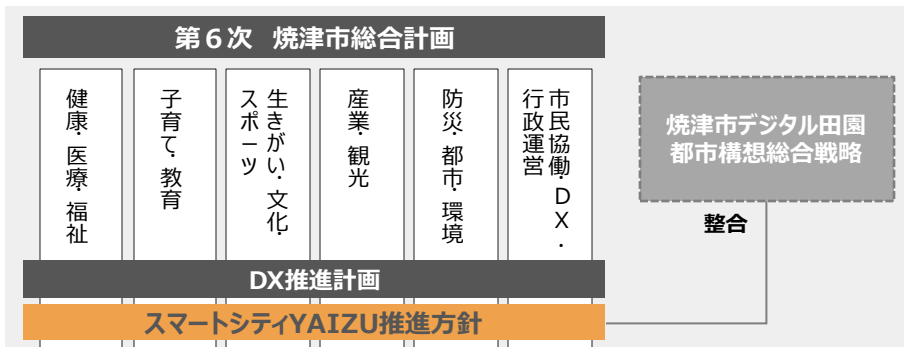
- アフターコロナの新たな生活様式や移住への関心の高まり
- SDGsの認知度向上に伴う持続性や環境問題への意識
- ワークライフバランスやテレワークによる柔軟な働き方の浸透
- 価格重視からこだわり志向、ニーズが多様化した消費行動

国の動向

- デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月閣議決定)
- 幸福度、豊かさを計測するWell-Being指標の活用
- Society5.0によるテクノロジーを活用した新たな社会の実現
- 産官学による「スマートシティ官民連携プラットフォーム」設立

1-2. 位置付け

- スマートシティYAIZU推進方針は、「焼津市DX推進計画」のリーディングプロジェクト2“官民データ活用組織の構築”の具体的な取り組みを示すものです。
- 第6次焼津市総合計画の6つの政策分野を横断的にとらえ、焼津市デジタル田園都市構想総合戦略(仮称)とも整合性を取りながら、DX推進計画の計画期間である令和7年度末までに優先的に取り組む事項を整理し、令和9年度までのロードマップを策定しました。



◎令和3年11月に策定した「焼津市DX推進計画」の各政策分野の取り組み内容については、本方針の中で一部更新してします。

◎「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」(仮称)の横断的目標の1つにスマートシティの実現を盛り込む予定であり、一体的な推進を行います。

◎今後のデジタル技術の進展や社会情勢等の変化が生じた際には、必要に応じ方針の見直しを行うこととします。

年度	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028
総合計画	第6次焼津市総合計画			次期焼津市総合計画			
総合戦略	第2期焼津未来総合戦略 (2020-2024)			焼津市デジタル田園都市構想総合戦略 (仮称)			
DX推進計画	DX推進計画			次期DX推進計画			
推進方針	スマートシティYAIZU推進方針						

1-3. 焼津市の現状と特性

- 日本武尊の伝承を「焼津」の地名の由来とする歴史文化を持ち、現在は日本有数の焼津漁港がある、陸海空ともに交通・輸送の利便性に優れた地域です。「住み続けたい住んでみたい行ってみたいまち焼津」と思えるまちづくりを目指しています。

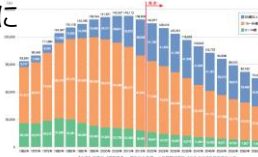
地理と交通



- 京浜・中京のほぼ中間に位置し、市域は70.3 km²、東西に狭く南北に長く、コンパクト。
- 古代東海道の推定地があり、中世に港が整備されるなど、古来から交通の要所。
- 東海道本線の焼津駅と、人口増加により、西焼津駅を設置。
- 富士山静岡空港からは市域のほとんどが20km圏内に含まれるなど、物流や観光交流に資する利便性が向上。

人口

- 人口は2010年をピークに減少し、2020年の人口は134,977人。将来の推計人口は、2060年には約43%減少、2065年にはピーク時の約52%になるとの予測。
- 総世帯数は増加傾向にあるが、世帯あたりの人口は減少傾向。



地域経済と産業



- 焼津港はマグロやカツオの水揚げで知られ、水揚量・金額ともに日本屈指の港。
- 漁獲量の増加は水産加工業の発展を促し、鰹節などの名産品が多数。
- 焼津市全域に豊富な伏流水が流れており、全国的に有名な酒造メーカーが存在。

観光

- 全国的に「さかなのまち」として知られ、豊富な海の幸と水産加工品のほか、魚河岸シャツなどの漁業関連商品も注目。
- 食文化や港町特有の文化を活かした観光や体験プログラムもある。
- 北部の山間地には、花沢の里などから高草山へ登るハイキング道を整備。



歴史と文化

- 日本武尊の伝承地や、徳川家康に関する古文書等の資料、史跡、伝説などがある。
- 焼津神社大祭は東海一の荒祭として知られている。
- 大井八幡宮で毎年奉納される田遊びの舞は千年以上の歴史がある国の重要無形民俗文化財。



1-4. スマートシティYAIZUのこれまでの取り組み

- スマートシティYAIZUでは、地域課題の解決や新たな価値・サービスの創出による市民のWell-Being向上を目指し、ICTなどの新しい技術やデータを活用し、市民の生活をより便利で快適にする取り組みを推進しています。またこれまでスマートシティYAIZUプラットフォーム（オープンデータ連携基盤）で収集した産業や観光、防災のデータを活用し、4つのサービスをリリースしました。さらに、スマートシティ推進検討会を立ち上げ、データ利活用について協議を進めています。

